

## 商品名 ブロムペリドール細粒1%「アメル」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	ブロムペリドール細粒
英名	Bromperidol AMEL	剤型	細粒
薬価	27.70	規格	1% 1g
メーカー	共和薬品	毒劇区分	(劇)

### ブロムペリドール細粒1%「アメル」の効能・効果

統合失調症

### ブロムペリドール細粒1%「アメル」の使用制限等

- 昏睡状態、中枢神経抑制剤の強い影響下、重症心不全、パーキンソン病、レビー小体型認知症、アレルギー過敏感の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏感の既往歴、アドレナリン投与中<アナフィラキシー救急治療・歯科浸潤又は伝達麻酔除く>
- 低血圧又はその恐れ・疑い、心・血管疾患又はその恐れ・疑い、QT延長を起こし易い体質、低カリウム血症、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、甲状腺機能亢進状態、薬物過敏感の既往、栄養不良状態を伴う身体的疲弊、脱水を伴う身体的疲弊、脱水状態、肥満、長期臥床、不動状態、肝機能障害、高齢認知症

記載場所 使用上の注意

注意レベル 禁止

記載場所 使用上の注意

注意レベル 注意

### ブロムペリドール細粒1%「アメル」の副作用等

- Syndrome malin、悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、発汗、発熱、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、高熱が持続、意識障害、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状、急性腎障害、死亡、低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム排泄量増加、高張尿、痙攣、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、SIADH、腸管麻痺、食欲不振、著しい便秘、腹部膨満、腹部弛緩、腸内容物うっ滞、麻痺性イレウス、悪心、嘔吐、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、無顆粒球症、白血球減少、深部静脈血栓症、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、息切れ、胸痛、四肢疼痛、浮腫、心室頻拍、Torsade de Pointes
- 遅発性ジスキネジア、口周部不随意運動、四肢不随意運動
- 錐体外路症状、パーキンソン症候群、振戦、筋強剛、流涎、寡動、歩行障害、仮面様顔貌、嚥下障害、構音障害、アカシジア、静坐不能

記載場所 重大な副作用

頻度 頻度不明

記載場所 重大な副作用

頻度 0.1%未満

記載場所 その他の副作用

4. 心電図変化、QT間隔延長、T波変化、肝障害、角膜混濁、水晶体混濁、角膜色素沈着、白血球減少、高プロラクチン血症、無力症、疲労	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 血圧低下、頻脈、動悸、ジスキネジア、口周部不随意運動、四肢不随意運動、不随意運動、舌のもつれ、ジストニア、痙攣性斜頸、顔面攣縮、喉頭攣縮、頸部攣縮、後弓反張、眼球上転発作、霧視、過敏症、発疹、食欲不振、悪心、嘔吐、胸やけ、便秘、腹部膨満感、下痢、月経異常、体重増加、体重減少、睡眠障害、焦燥感、眠気、めまい、ふらつき、抑うつ、口渇、脱力感、倦怠感、鼻閉、発汗、排尿障害、立ちくらみ、尿閉	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 胸内苦悶感、アキネジア、眼調節障害、貧血、胃不快感、女性化乳房、乳汁分泌、頭痛、頭重、知覚異常、性欲異常、痙攣発作、意識障害、もの忘れ、傾眠、しびれ感、潮紅、浮腫、運動失調、発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. 嘔吐症状を不顕性化、一過性血圧低下、QT延長、錐体外路症状、Syndrome malin、悪性症候群、高熱反応、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、胎仔吸収増加、胎仔毒性、催奇形性、口蓋裂、脳奇形、着床数減少、流産率上昇、哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性、離脱症状、ジスキネジア、低血圧、過度の鎮静、重症の錐体外路症状、筋強剛、ジストニア症状、呼吸抑制、昏睡状態、心電図異常、Torsade de Pointes、循環虚脱、突然死、死亡率上昇、乳腺腫瘍、下垂体腫瘍、腫瘍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

## ブロムペリドール細粒1%「アメル」の相互作用

1. 薬剤名等：アドレナリン			
発現事象	作用を逆転させ重篤な血圧低下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 $\alpha$ 、 $\beta$ -受容体の刺激剤であり、本剤の $\alpha$ -受容体遮断作用により、 $\beta$ -受容体刺激作用が優位となり、血圧低下作用が増強	指示	禁止
2. 薬剤名等：中枢神経抑制剤			
発現事象	中枢神経抑制作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤及びこれらの薬剤の中枢神経抑制作用	指示	注意
3. 薬剤名等：アルコール			
発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
理由・原因	アルコールは中枢神経抑制作用を有する	指示	注意
4. 薬剤名等：飲酒			
発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
理由・原因	アルコールは中枢神経抑制作用を有する	指示	注意
5. 薬剤名等：リチウム			

発現事象	類似化合物<ハロペリドール>で持続性のジスキネジア、類似化合物<ハロペリドール>で重症の錐体外路症状、類似化合物<ハロペリドール>で心電図変化、類似化合物<ハロペリドール>で突発性のSyndrome malin、類似化合物<ハロペリドール>で突発性の悪性症候群、類似化合物<ハロペリドール>で非可逆性の脳障害	投与条件	-
理由・原因	抗ドパミン作用の増強	指示	注意

6. 薬剤名等：抗コリン作用を有する薬剤

発現事象	腸管麻痺等の抗コリン系の副作用が強くあらわれる、精神症状が悪化	投与条件	-
理由・原因	抗コリン作用が強くあらわれる	指示	注意

7. 薬剤名等：メトクロプラミド

発現事象	錐体外路症状、内分泌機能異常	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤は抗ドパミン作用を有するため、併用により抗ドパミン作用が強くあらわれる	指示	注意

8. 薬剤名等：ドンペリドン

発現事象	錐体外路症状、内分泌機能異常	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤は抗ドパミン作用を有するため、併用により抗ドパミン作用が強くあらわれる	指示	注意

9. 薬剤名等：タンドスピロンクエン酸塩

発現事象	錐体外路症状を増強	投与条件	-
理由・原因	タンドスピロンクエン酸塩は弱い抗ドパミン（D2）作用を有する	指示	注意

10. 薬剤名等：ドパミン作動薬

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	ドパミン作動性神経において、作用が拮抗	指示	注意

11. 薬剤名等：薬物代謝酵素誘導作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の薬物代謝酵素誘導作用により、本剤の血中濃度が低下	指示	注意

12. 薬剤名等：イトラコナゾール

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	イトラコナゾールのCYP3A4阻害作用により、本剤の代謝が阻害	指示	注意

13. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象 QT延長

投与条件 -

理由・原因 QT延長作用が相加的に増加

指示 注意

14. 薬剤名等：アドレナリン含有歯科麻酔剤

発現事象 重篤な血圧低下

投与条件 -

理由・原因 アドレナリンはアドレナリン作動性 $\alpha$ 、 $\beta$ 受容体の刺激剤であり、本剤の $\alpha$ 受容体遮断作用により、 $\beta$ 受容体刺激作用が優位となり、血圧低下作用が増強

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』